

年 月 日

現住所

氏名

殿

株式会社  
代表取締役社長

## 通 知 書

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、貴殿が身元保証人となっております (昭和 年 月 日生) は、従来当社事務員として勤務されておりましたところ、このたび真面目でかつ有能な同君の人柄を見込み、去る 月 日付で、同君を販売外交員に抜てきいたしました。

同君の全とある将来のため御同慶に堪えませんが、ご承知のとおり、外交販売員は多額な現金を扱うことが多く、従来の一事務員に比較して飛躍的にどの責任も重くなります。

私どもが同君に対して厳格に指導、監督することは当然でございますが、貴殿におかれましても、よろしく御監督、御指導の程をお願い申し上げます。

身元保証に関する法律第3条第2号の定めに従いご通知申し上げます。

敬具